

報道関係各位

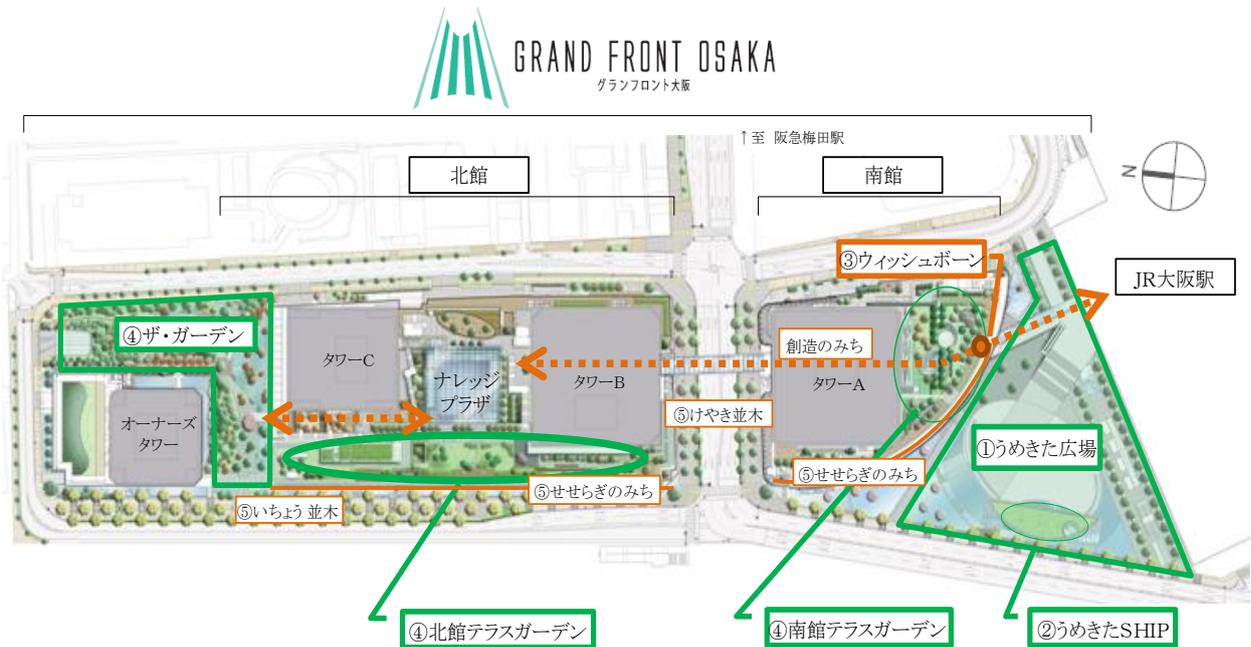
グランフロント大阪 開発事業者12社

NTT都市開発株式会社 株式会社大林組
オリックス不動産株式会社 関電不動産株式会社
新日鉄興和不動産株式会社 積水ハウス株式会社
株式会社竹中工務店 東京建物株式会社
日本土地建物株式会社 阪急電鉄株式会社
三井住友信託銀行株式会社 三菱地所株式会社

グランフロント大阪

「うめきた広場」他、まちのオープンスペース名称決定

グランフロント大阪の開発事業者12社は、2013年4月26日（金）のまちびらきに向けて建設工事を進めておりますが、このたび、まちのオープンスペース等の名称を決定いたしましたので、下記の通り発表いたします。



■うめきた広場（図上①）

- 大阪駅北口の正面に新たに誕生する約10,000㎡の憩い空間「うめきた広場」（都市計画名称：大阪北口広場）。公共用地を民間の開発事業者12社が計画、整備、運営する「新しい公共」のモデルケースとして、質の高い維持管理に加え、関西・大阪の風物詩となるお祭りや日常的なイベントを定期的を開催することによ



「うめきた広場」

り、子供からお年寄りまで幅広い方々が集い、誰からも愛される名実ともに「大阪の顔」となる広場を目指していきます。

- ・ うめきた広場には、水都大阪をイメージし、カスケード等の水景施設や緑（いちょう・けやき等）を整備するほか、広場中央には「霧の彫刻家」として活躍するアーティスト・中谷芙二子氏監修による「人工の霧」（ミスト演出装置）を設け、ヒートアイランド現象の緩和を図ります。また、約500個のLED照明による光と音の演出とあわせて幻想的な風景を演出し、昼夜を問わず、居心地の良い空間・時間を提供していきます。

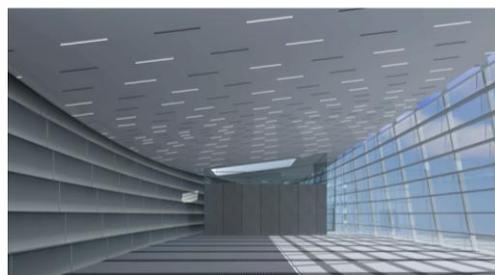
■うめきたSHIP／うめきたSHIP HALL（図上②）

- ・ うめきた広場に面した、シンボリックなデザインが特徴的な2階建ての建物「うめきたSHIP」（旧称：シンボル建物）。頭文字の「U」と「S」をとり、うめきた広場とともに「US=みんな」に愛される建物という意味が込められています。また、ロゴマークは、建物のデザインがうめきた広場に停泊する船をイメージさせることから、「S」の字を船のアンカー＝錨をモチーフとしてデザインしました。
- ・ 1階には、カフェ「GAR B Mon a que（ガブモナーク）」が出店し、広場で行われるイベントや水と緑の風景を楽しみながら、モダンかつ自然の風景を食材に取り入れたお食事を楽しんでいただけます。
- ・ 2階には、広場に向かって開かれた開放感のあるデザインが特徴の約270㎡の多目的ホール「うめきたSHIP HALL」を整備。象徴的なロケーション、デザインを活用して、広場と一体的な利用のほか、展示会やセミナー等の多彩なイベントを開催し、広場と合わせて新しい文化の発信拠点となります。

US
UMEKITA SHIP



「うめきたSHIP」



「うめきたSHIP HALL」

■ウィッシュボーン（Wish Bone）（図上③）

- ・ JR大阪駅から2階デッキで直結する南館の入り口にそびえたつ、地下1階から地上7階、高さ約43mにおよぶ大阪の新たな待ち合わせスポットとなるシンボル柱「ウィッシュボーン=Wish Bone」。
- ・ この柱の形状は、まちの玄関口に位置しお客様を出迎える場所として、このまちから始まる新しい世界観や



「ウィッシュボーン」（全体、南館5F）

先進性、将来性を表現しデザイン化したもので、南館5階の二股に分かれたこの柱の下をくぐりぬけた人々の願いが叶う「希望の柱=Wish Bone」という思いが込められています。

※ 「ウィッシュボーン」とは鶏の鎖骨のことで、西洋では食後、願いをかけた2人がYの字をした骨の両はじを持って互いに引き合い、折れた骨の長いほうを取った人の願いが叶うと言われていました。

■南館・北館テラスガーデン、ザ・ガーデン（図上④）

- ・ 大阪駅直結の都心一等地にありながら、都会の喧騒を忘れて、ゆっくりとした時間を過ごしていただけるよう、南館・北館9階の屋上には計10,000㎡を超える屋上庭園「テラスガーデン」、北館北側の地上レベルには約4,000㎡の庭園「ザ・ガーデン」を整備します。
- ・ 四季の移ろいが感じられる空間として年間を通してお散歩を楽しんでいただけるほか、買い物や仕事の合間の休憩スペースとしてご利用いただいたり、インターコンチネンタルホテル大阪の宿泊者やオーナーズタワーの居住者の方々にも寛いでいただける居心地の良い空間となります。



「南館テラスガーデン」



「北館テラスガーデン」



「ザ・ガーデン」

■けやき並木、いちよう並木、せせらぎのみち（図上⑤）

- ・ 南館と北館の間を東西に横断する「けやき並木」。幅11mの歩道に2列のけやき並木を整備し、沿道店舗によるオープンカフェの実施や歩道空間の照明柱を活用したバナーフラッグの掲出等により、賑わいと上質な街並みの景観を創出します。
- ・ 敷地西側には、敷地内のセットバック空間と歩行回廊空間を合わせた幅9mの「せせらぎのみち」（旧称：都市回廊）と、幅11mの歩道（公道）空間による計20m幅員の歩行者沿道空間として一体的に整備します。敷地内には水都大阪を象徴する水景施設を整備するほか、歩道空間と敷地内をあわせて3列の「いちよう並木」（※一部、1・2列植栽）を全長約500mにわたり整備することにより、ゆとりと風格あるシンボリックな景観を形成していきます。



「けやき並木」



「せせらぎのみち」



「いちよう並木」

以上

【各オープンスペース一覧表】

① うめきた広場	面積：約10,000㎡（大阪駅北口正面） 設備：「人工の霧」（ミスト演出装置）、約500個の演出用LED
② うめきたSHIP うめきたSHIP HALL	1Fにはカフェ「GARB Monaque（ガープモナーク）」が出店 HALL面積：約270㎡
③ Wish Bone	高さ：43m（地下1階から地上7階部分に及ぶ）
④ 南館・北館テラスガーデン ザ・ガーデン	合計面積：約10,000㎡（各館9階部分） 面積：約4,000㎡（北館北側地上レベル）
⑤ けやき並木 いちよう並木 せせらぎのみち	11m幅員の歩道にけやき高木を2列植栽（南館・北館を横断通路部分） 全長500mにわたりいちようを3列植栽（一部1・2列植栽。敷地西側） 建物セットバックと回廊を合わせた9m幅員の水景施設付歩行者空間（敷地西側）
ナレッジプラザ	面積：約1,000㎡。7層吹き抜けの屋内オープンスペース

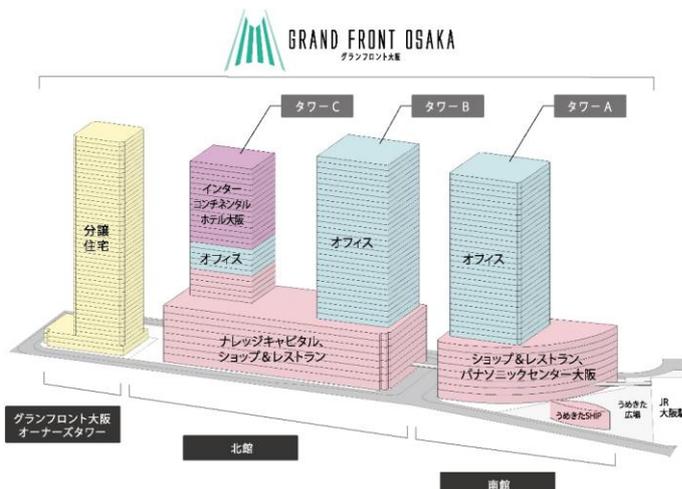
（参考）【うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」について】

梅田貨物駅を中心とする約24haの「うめきた」（都市再生緊急整備地域内）において、2005年6月に先行開発区域（約7ha）としてUR都市機構が「大阪駅北大深東地区土地区画整理事業」に着手、地権者であるUR都市機構と鉄道・運輸機構が開発事業者を募集。2006年5月、11月に開発事業予定者が決定され、2007年6月に土地の引き渡し完了。2008年2月に「都市再生特別地区」として都市計画決定。2010年3月に新築工事着工し、2013年3月末竣工、同4月26日にまちびらき予定。オフィス、商業、ホテル・サービスレジデンス、分譲住宅、ナレッジキャピタルにて構成。

（全景パース）



（用途構成図）



（位置図）



(本件に関するお問合せ先)

三菱地所株式会社大阪支店 (担当 : 山口・山本)

電話 : 06-6881-5160

グランフロント大阪TMO取組み概要発表

豊かなオープンスペースを活用した「歩いて楽しいまちづくり」

- 全国2例目、道路占用許可の特例による歩道空間を活用した「オープンカフェ」
- まちや来街者との新たな交流を育む「コンパスサービス」
- “あなたの夢”を叶える地域サークル活動の支援体制「ソシオ制度」
- 梅田のまちをつなぐ交通サービス「UMEGLE（うめぐる）」

グランフロント大阪の一体的なまちの運営組織、一般社団法人グランフロント大阪TMO（以下、「TMO」）は、2013年4月26日（金）のまちびらき以降、商業、ナレッジキャピタル、オフィス、ホテル等からなる複合施設と豊かなオープンスペース等を活用したさまざまな取組みにより、お客様が日々足を運びたくなる賑わいと活気溢れるまちを創出していきます。

このたび、歩いて楽しいまちづくりの取組みとして、全国2例目（予定）となる「道路占用許可の特例」による歩道空間を活用した「オープンカフェ」、まちや来街者との新たな交流を育むユビキタス環境を活用した「コンパスサービス」、多様な人々の夢を叶える地域サークル活動を支援する「ソシオ制度」、およびグランフロント大阪と梅田のまちをつなぐ交通サービス「UMEGLE」の概要が固まりましたので、下記のとおり発表いたします。

■歩道空間を活用した「オープンカフェ」の実施

グランフロント大阪では、公民連携による先進的なエリアマネジメントの取組みとして、地区内の歩道空間（公道）を活用したオープンカフェを実施し、華やかで賑わいのある歩行者空間を演出していきます。

① 歩道空間活用の枠組み

- 歩道空間を活用したオープンカフェの実施には、2011年10月の都市再生特別措置法一部改正で創設された「道路占用許可の特例」の活用を予定しています。
- 同制度の活用に向けては、都市再生整備計画の策定（2012年10月／全国初）、特例道路占用区域の指定（2012年11月／全国2例目）という行政手続きが、大阪市により既に実施されています。
- これらの枠組みにより民間主体であるTMOによる道路占用及び歩道空間の活用が特例的に可能となり、公民連携による先進的なエリアマネジメントの取組みとしてオープンカフェが実現することになりました。

② 実施場所／けやき並木

- オープンカフェの実施場所となる「けやき並木」は、幅員11mの歩行者空間に自然石の舗装や2列植栽の高木けやき並木を整備した、美しく快適な歩道空間になります。
- この歩道空間と沿道建物が一体となったオープンカフェの実施により、グランフロント大阪に上質な賑わいと美しい街並み景観を創出します。

③ オープンカフェ実施店舗

- ・ けやき並木沿いに並ぶ飲食店舗、カフェ&ブラッスリー「オーバカナル」、イタリアンバー「SOSH The Market Bar (ソッシュ ザ マーケット バール)」、カフェ&鉄板バー「bibbaR (ビブ バール)」、アジアンカフェ「カンテ・グランデ」が、それぞれ独自のテーブルや椅子を設置し、通りの賑わいを演出します。



「オーバカナル」



「SOSH The Market Bar」

■まちや来街者との新たな交流を育む「コンパスサービス」の提供

グランフロント大阪では、人とまちが相互に交流を楽しみ、そこに新たな人と人のつながりが生まれる、新しい人とまちの関わり方をつくるサービス「コンパスサービス」を提供します。

コンパス (Compath) とは、「Community Path」の略称 (造語) であり、このまちで様々な「コミュニティ」が生まれるための「道筋」となってほしい、との思いを込めたサービス名称であり、このまちを最大限に楽しむための羅針盤 (コンパス) という意味も込められています。

① ㈱電通国際情報サービスとの共同事業

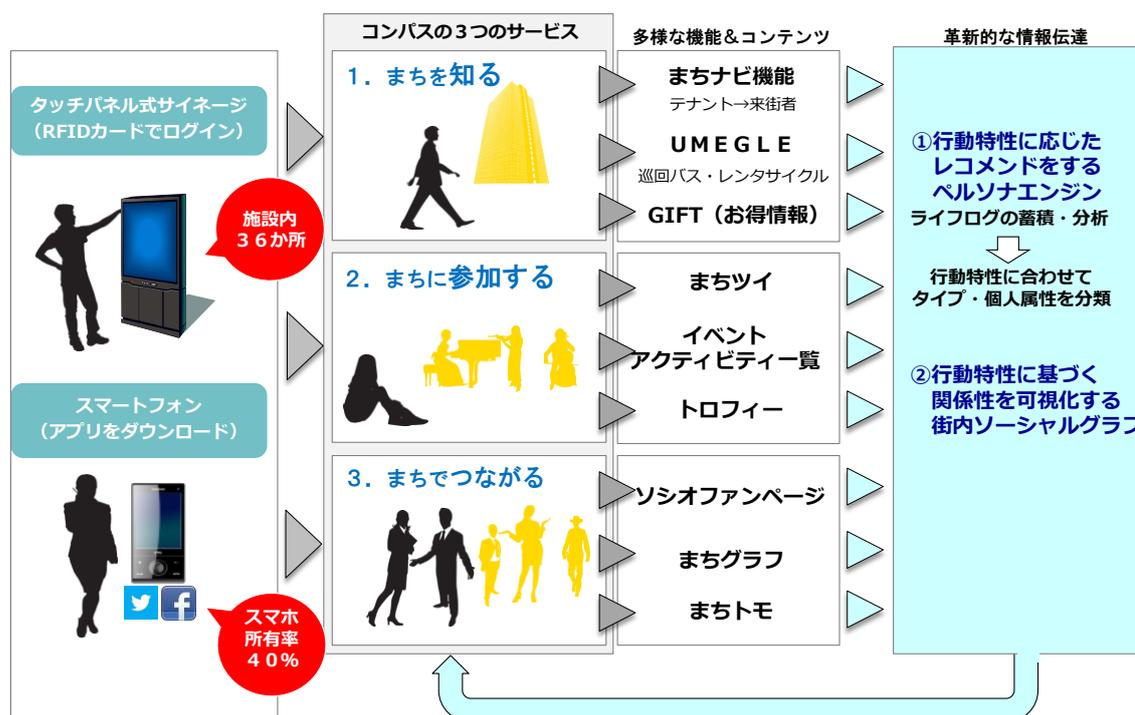
- ・ 本サービスには、共同企画者である株式会社電通国際情報サービス (以下、「ISID」) が開発するソーシャルシティ・プラットフォーム「+fooop!」を世界で初めて適用します。
- ・ ソーシャルシティ・プラットフォーム「+fooop!」は、ISIDが研究開発および事業化を進める、まちのITプラットフォームのブランド名です。まちを訪れた人の趣味や興味関心事、購買履歴といった情報に、まちで行われるイベントや当日の天候などの情報を加味して、その時々、一人ひとりの状況に合わせた情報提供を行い、まちと人、そして人と人とのリアルなコミュニケーションを促進します。

② 利用資格・利用方法

- ・ 商業ポイントカード「GFO OSAMPO CARD」や手持ちのRFIDカード (非接触ICカード) を計36台設置する双方向デジタルサイネージ端末「コンパスタッチ」にタッチしユーザー認証 (匿名) を行うことで、来街者の皆様にご利用いただけます。

③ 新しい人とまちの関わり方

- ・ 来街者とまちの接点として、「コンパスタッチ」と「スマートフォンアプリ」を設けます。これらを通じた来街者からのまちに対するリアクション（端末にRFIDカードをタッチすることによる「チェックイン」、このまちのコンテンツに対する「いいね！」等）から「来街者の属性」をまちが理解することで、「いつもどおり」に過ごしていたら触れることがなかったかもしれない、来街者一人ひとりに適した情報をオススメします。「まちについて新たな発見をする楽しさ」、「まちを回遊する楽しさ」を提供することを通じて、来街者にはまちをより楽しんでいただき、まちは来街者をより理解する、本サービスはそのような人とまちの有機的な交流を促します。



④ 「Mobile World Congress2013」への出展

- ・ 本年2月25日～28日にスペイン（バルセロナ）で開催される世界最大級の携帯電話・モバイル業界の国際展示会である「Mobile World Congress2013」に、TMOとISIDでの共同出展を予定しており、当展示会において、グランフロント大阪を舞台とした「+fooop!」の展開について発表を行う予定です。

■ “あなたの夢”を叶える地域サークル活動の支援体制「ソシオ制度」

グランフロント大阪では、「新しい『参加型のまちづくり』」という開発ビジョンを実現すべく、豊かなオープンスペース等を活用し、自らの夢の実現を通じて地域・社会に貢献していただける地域サークル活動を支援する「ソシオ制度」をスタートさせます（開始時期は本年5月頃を予定）。この制度を通じて、人の営みが育てるまち「グランフロント大阪」を実現して参ります。

① 「ソシオ」の定義

ソシオは、このまちを舞台に、自律的・継続的に活動し、自らの夢の実現を通じて、地域・社会に貢献する、地域サークル活動の名称です。

ソシオの活動コンセプトは「G I F T」。「G I F T」という言葉には「贈り物」のほか、「天から与えられたもの」、転じて「才能」という意味が含まれています。このまちを舞台に活動する各ソシオは、なんらかの「G I F T」を地域・社会に生み出す事を通じて、自らも「自己実現」という「G I F T」を受け取る事をテーマとして活動していただきます。

② 「ソシオ」活動の方向性

活動テーマは「自己実現／地域貢献／社会貢献」の「三方よし」。

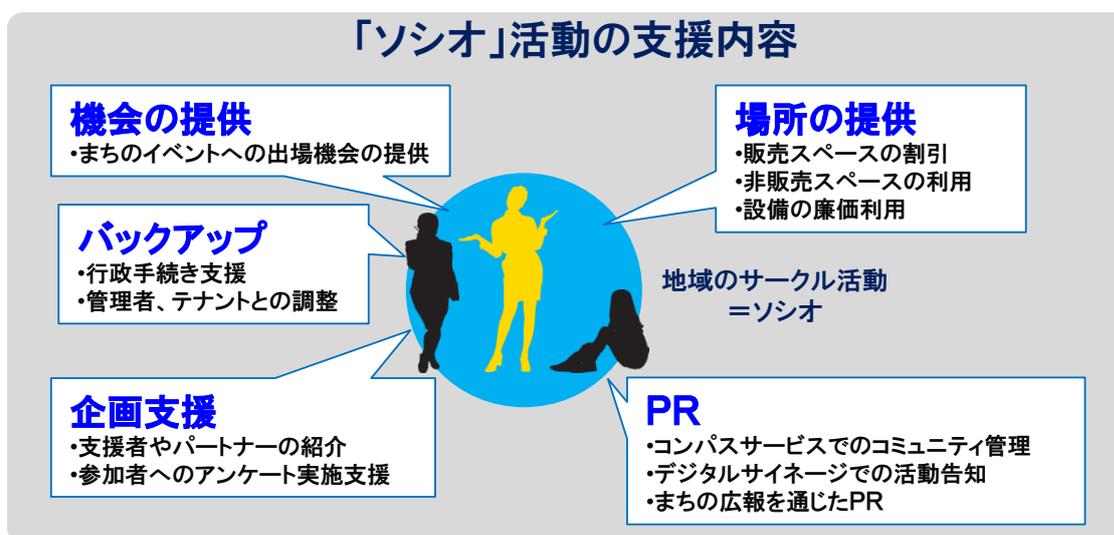
【自己実現】ソシオ活動を通じた、皆様の夢の実現をグランフロント大阪は応援します。

【地域貢献】ソシオ活動を通じた、地域の笑顔を広げる活動をグランフロント大阪は応援します。

【社会貢献】ソシオ活動を通じた、社会貢献活動をグランフロント大阪は応援します。

③ 「ソシオ」活動の支援内容

ソシオ活動の舞台、ステージとなるオープンスペース等の提供や利用優遇のほか、ソシオ活動に必要な協力先・支援団体の紹介や、様々な情報発信活動（配布ツールやコンパスサービスを通じた情報発信等）をサポートいたします。



④ 「ソシオ」への登録・参加について

「ソシオ」の登録を希望される団体または個人の方は、活動計画書をご提出下さい。TMOによる承認を経て、その代表者の方を「ソシオキャプテン」に登録いたします。承認を受けたソシオへの参加については、ソシオキャプテンの承認があれば、どなたでもご参加いただけます。

なお、現在、関係者を中心に、先行的なソシオの形成を行っておりますが、一般の方からのお問い合わせ・登録申込については、本年5月頃に開始を予定しております。

⑤ 「ソシオ」の具体的な活動

あなたの夢:「大阪が日本でいちばん人の命を思い、救えるまちに」

ソシオ名称:ハートソシオ

ソシオキャプテン:石見拓(ワタタ/PUSH プロジェクト代表、
京都大学講師、大阪ライフサポート協会副理事長)

-活動内容-

「心臓マッサージ&AED講習会」「指導者養成講座」「ケガの応急処置
ワークショップ」の実施、啓発イベントの開催

-活動趣旨-

「いつでも、どこでも、誰にでも起こりうる、心臓突然死。その数は年間6万8千人にも及び、何の前触れもなく尊い命が奪われています。それでも多くの方々の関心が低いのは、“自分ごと”として実感できないからです。もし多くの方々がAEDの使い方を含む心肺蘇生術をマスターすれば、大阪は『世界でいちばん人の命を思うまち、救えるまち』になります。市民救助者をひとりでも多く生み出し、ひとりでも多くの大切な命を救う。グランフロント大阪を拠点に、私は夢の実現に向けてライフワークに取り組みます」(石見拓)



あなたの夢: 「子供から大人まで一緒に楽しみながら、まちをデコレーション」

ソシオ名称: まちデコソシオ

ソシオキャプテン: 千秋育子(センシュウヤスコ/イラストレーター、アーティスト)

-活動内容-

まちデコアートの制作・展示、まちデコワークショップの開催

-活動趣旨-

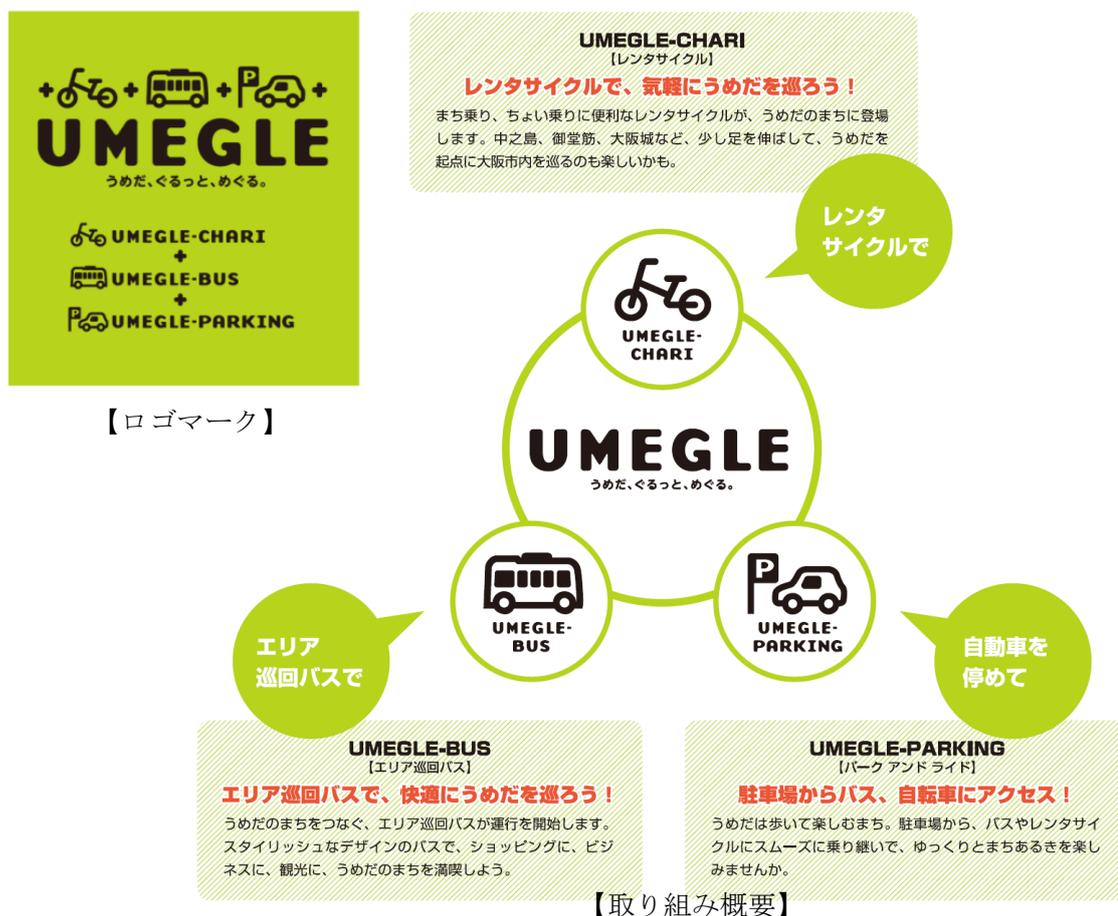
「グランフロント大阪はひとつの“まち”にして巨大なギャラリー。そのまちをみんなデコレーションすれば、とってもオモロイ『まちアート』が出現します。お菓子の巨大オブジェ、屋上の珈琲庭園(枯山水)、祈りのランプシェード…。大阪らしいモノや素材を使い、季節感も盛り込んで、自由に遊ぶまちデコソシオは、みんなで作る『参加型アートスタイルの発信』がコンセプト。子供もOLもおっちゃんもおばあちゃんも、みんな参加してや！」



■梅田地区の新たな交通サービス『UMEGLE（うめぐる）』がスタート

1. 歩いて楽しいまちづくりの実現に向けた交通サービス『UMEGLE』

- ・ グランフロント大阪のまちびらきに合わせて、『うめだ、ぐるっと、めぐる=UMEGLE（うめぐる）』をコンセプトとした、「エリア巡回バス」「レンタサイクル」「駐車場連携」の3つの新たな交通サービスを開始し、梅田地区全体の回遊性向上、梅田地区全体の活性化をめざします。



2. 梅田のまちをつなぐエリア巡回バス「UMEGLE-BUS」

- ・ 「UMEGLE-BUS（うめぐるバス）」の運行は、梅田地区内での運行実績のある阪急バス株式会社が実施し、「UMEGLE」のロゴマーク、カラーリングを配したスタイリッシュなデザインのバスが、梅田地区の東西南北12地点をつなぎます。
- ・ また、バス車体のラッピング広告やバス車内のデジタルサイネージ広告など、梅田のまちをめぐる新たなメディア媒体としての活用も積極的に図っていきます。

【運行計画】 ※路線免許申請中の内容であり、今後変更となる場合があります

運行距離：約4km（1周約30分）

停留所数：12ヶ所

運行時間：10時～21時（10分間隔で運行）

利用料金：100円（小人50円）、1日乗車券200円（小人100円）

実施主体：一般社団法人グランフロント大阪TMO

運行主体：阪急バス株式会社

【バス車体・バス停デザイン】※現在路線認可申請中であり、変更となる場合があります



(バス車体前面)



(バス車体左側面)



(バス停)



このロゴマークが
バス停の目印です！

3. 梅田のまちの新たな移動手段となるレンタサイクル「UMEGL E-CHARI」

- ・「UMEGL E-CHARI (うめぐるチャリ)」は、グランフロント大阪「うめきた広場」内に貸出・返却ポートを設け、梅田の新たな移動手段として提供するレンタサイクル (計30台) になります。
- ・レンタサイクルの運営は、他都市でレンタサイクル事業の実績がある株式会社アーキエムズが実施し、事前登録不要で貸出・返却が可能なシステムを導入するなど、利便性の高いサービス提供に努めてまいります。
- ・また、30台のうち15台は電動アシスト自転車を採用し、同自転車の充電には「うめきたSHIP」屋上に設置する太陽光パネルの電力を使用するなど、環境にも配慮した取組みとなります。

【運営計画】※現時点での計画案であり、今後変更となる場合があります

設置場所：グランフロント大阪「うめきた広場」

導入台数：30台 (電動アシスト自転車15台、一般自転車15台)

利用料金：最初の1時間200円、以降1時間毎100円

運営会社：株式会社アーキエムズ

【導入車両・デザイン】

まち乗りにもふさわしいコンパクトな車両 (パナソニック社製)。『UMEGL E』のロゴマーク、カラーリングを配したデザイン。



4. 周辺の駐車場との連携による「UMEGLE-PARKING」

- ・「UMEGLE-BUS」のバスルートに近接する既存駐車場と連携し、梅田地区中心部への自動車流入抑制に取り組みます。
- ・グランフロント大阪の Web サイトやリーフレット等による情報発信や連携駐車場から「UMEGLE-BUS」への誘導案内等を実施し、連携駐車場の利用促進、車を停めてバスに乗り継ぐ“パークアンドライド”の推進に向けた取り組みを進めてまいります。

5. 「UMEGLE」の実施位置図

- ・「UMEGLE-BUS」のルート及びバス停、「UMEGLE-CHARI」のレンタサイクル貸出・返却ポート、「UMEGLE-PARKING」の連携駐車場の位置は、下図の通りです。



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人グランフロント大阪TMO（担当：明壁、木村、山本）

電話：06-6341-1708